

クラス	312	担当教員	齋藤一晴
テーマ	歴史学・社会科教育から対話、共生、子どもを考える		
著書・論文 研究課題等	「日中戦争下の華北における日本語教育の実相」現代史料出版、近刊予定 「歴史学や社会科教育にとって子どものしあわせとは」ミネルヴァ書房、近刊予定 「日中授業交流を通じて平和とは何かを考える 歴史教育者協議会・日中交流委員会の活動を事例として」『平和創造学への道案内 歴史と現場から未来を拓く』法律文化社、2021		
ゼミナール概要			
キーワード：			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>ゼミに興味がある方は、「お試し参加」してみてください。金曜日の3・4限、ゼミ棟B105です。先輩たちと一緒に待っています。</p> <p>ゼミでは、①テキストの輪読、②班発表、③フィールドワークなどを行います。ゼミ全体で取り組む年間テーマと、各自の問題意識にもとづいた個人テーマを並行して深めていきます。以下に4年生が現在取り組んでいる個人テーマ（卒論のテーマ）をあげてみます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的思考力と社会科のあり方 ・子どもたちと「特攻」にどう向き合い、「特攻」から何を学ぶか ・道徳を用いた渋沢栄一の経営の考え方 ・戦争を学校で教える意味と方法 ・現代のいじめを考える ―ネットを利用したいじめについて― ・なぜ社会科が暗記科目と呼ばれてしまうのか ―その理由と改善点― ・学校教育と学校給食 ・日本における宗教教育の是非 ―海外の宗教教育を通して― <p>フィールドワークは、大学周辺から名古屋市内、東海三県へ。さらには全国、海外も射程に入れて動きます。</p> <p>ゼミは学生生活の根幹です。仲間との時間を大切にできる方を募集します。また、日本史概論と日本史特講の受講を希望します。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>ゼミは、高校までの社会科の成績、知識量、GPA、卒業後の進路、専修などに関係なく募集します。自分なりの「問い」を探したり、深めたりしてみたい方、お待ちしております。</p> <p>歴史学や社会科教育というと、暗記、難しい、役に立たない、といったイメージかもしれませんが。ゼミでの学びを通して、そうした「食わず嫌い」を克服できたらと思います。卒業後も継続してみずからの「問い」を深めていける広い教養を身につけることをめざします。また、他のゼミとのコラボ企画も模索します。研究、活動領域を超えることで初めて理解できること、経験できることなどがあると思います。</p> <p>ゼミに関する問い合わせは、メール（kazuharu@n-fukushi.ac.jp）か、研究本館4階の405研究室までお願いします。</p>			